

火山情報の提供に関する報告（目次案）

目次

- 1．はじめに
- 2．平成 26 年御嶽山噴火の経緯と対応
 - 2 - 1．気象庁の情報発表
 - 2 - 2．活動の経緯と気象庁の対応
- 3．気象庁の課題
 - (1) わかりやすい情報であったのか
 - (2) どのようにその情報を伝えたのか
 - (3) 気象庁と関係機関の連携は十分だったか
- 4．改善に向けた提言
 - 4 - 1．わかりやすい情報提供
 - (1) 噴火警報の発表基準の公表
 - (2) 火山活動の変化を観測した段階での情報提供
 - (3) 臨時の機動観測の適切な実施
 - (4) 噴火速報の発表
 - (5) 噴火警戒レベル 1 における「平常」の表現の見直し
 - (6) 気象庁ホームページの充実
 - (7) 火山情報のより効果的な提供に向けた技術開発の推進
 - 4 - 2．情報伝達手段の強化
 - (1) 現地における情報伝達体制の強化
 - (2) 火山情報の携帯端末への伝達
 - 4 - 3．関係機関との連携強化
 - (1) 平素からの情報共有
 - (2) 登山者等に対する周知啓発
 - (3) 気象庁の火山活動に伴う対応の明確化
 - (4) 火山防災対応手順の作成の推進
 - (5) 火山活動の変化が観測された場合の連携した対応
- 5．おわりに

参考資料

- ・噴火予知連絡会 火山情報の提供に関する検討会委員名簿
- ・火山情報の提供に関する緊急提言
- ・火山情報の提供に関する検討会 開催実績
- ・第 1 回～第 6 回火山情報の提供に関する検討会議事概要